

政策シート

政策名

03 交通安全対策

予算費目名

01 道路企画費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策

04 安全な生活基盤づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①市民の交通安全意識の向上
②幹線道路における交差点改良等の交通事故抑止対策
③通学路における歩道設置などの交通安全対策
④生活道路の交通安全対策

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑬気候変動	⑰実施手段						
-----	-----	-------	-------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,146,661	3,365,044	4,238,501	3,778,111	3,784,070	4,623,231
決算	3,365,007	3,949,662	3,534,371	4,115,557	3,968,888	4,068,020
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	51,800	62,531	62,454	62,300	63,000	70,000
年間経費(決算+A+B)	3,416,807	4,012,193	3,596,825	4,177,857	4,031,888	4,138,020

年間経費(決算+A+B)

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
交差点等事故削減対策の実施箇所数	箇所	目標				20	20	20
		実績			20	20	20	20
道路照明灯LED化更新率	%	目標	80	45	50	55	60	63
		実績	38	43	67	96	99	57
人身交通事故発生件数(件)	件	目標	6,000	6,000	2,500	2,500	2,500	2,500
		実績	6,582	5,570	5,375	5,094	4,999	4,795

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①市民の交通安全意識の向上
②幹線道路における交通事故抑止対策
③通学路の交通安全対策
④生活道路の交通安全対策

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	進んでいる
・毎年、着実に人身交通事故件数が削減(△204件)したが、死亡者は昨年に比べ微増(▲1人)した。 ・幹線道路における交通事故抑止対策として、中央分離帯4箇所を閉鎖した。 ・通学路の交通安全対策では、グリーンベルトや注意喚起標識の設置等、計75箇所の対策を実施した。 ・生活道路では、速度規制と物理的デバイスの組み合わせにより安全な通行空間を確保する「ゾーン30プラス」を1地区設定した。 ・道路照明灯LED化更新事業は、国県道及び市道の連続照明を優先してLED化したことにより、電気好け安全性が向上した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	交通安全施設等整備・修繕事業	○	○		3,506,764	3,857,787	3.3				
2	道路照明灯LED化更新事業	○	○		465,748	630,000	1.3				
3	交通安全推進事業		○		165,508	135,444	4.4			1.0	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					4,138,020	4,623,231	9.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 交通安全施設等整備・修繕事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・自動車交通分担率が約67%と突出している本市においては、歩行者(高齢者や子ども、障がいのある人等)及び自転車などの交通弱者の安全対策が重要であり、「人優先」の考えの下に安全で安心な道路交通環境の整備を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1952	-	一般会計	自治事務(法令義務)	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律・交通安全対策、基本法・社会資本整備重点計画法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-1(1)ア					

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑪実施手段						
事業とゴールの関連性		安全、安心な歩行空間の確保、バリアフリーの推進により、誰もが暮らしやすい快適な生活環境の実現が可能となる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,970,712	3,105,429	3,050,321	3,483,067	3,589,355	3,857,787
	決算	3,155,930	3,691,565	2,925,153	3,319,546	3,716,522	3,478,064
	国・県支出	429,227	893,683	666,894	670,096	849,514	712,506
	市債	235,600	1,197,400	245,900	490,800	628,800	692,200
	その他	587		414		2,372	
	一般財源	2,490,515	1,600,482	2,011,945	2,158,650	2,235,836	2,073,358
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		17,500	24,500	24,472	24,500	25,200	28,700
人工	正規	2.5	3.5	3.5	3.5	3.6	4.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		3,173,430	3,716,065	2,949,625	3,344,046	3,741,722	3,506,764

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
国道257号連尺交差点外1箇所平面横断化整備率(%)		目標	65	65	65	70	80	100
		実績	50	50	50	50	50	50
交差点等事故削減対策の実施箇所数(箇所)		目標				20	20	20
		実績			20	20	20	20
自転車通行空間等整備率(%)		目標	70	70	70	80	90	100
		実績	60	60	65	67	80	93
JR弁天島駅(国道301号)UD化整備率(%)		目標	5	10	70	100	—	—
		実績	5	5	5	5	—	—
通学路整備要望対応率(%)		目標	60	60	60	60	60	60
		実績	76	65	58	83	81	83
中規模要望(高判定)の残件数(件)※2018年度末時点における累積未実施分(土木部全体)		目標	335	212	92	46	0	
		実績	328	200	44	20	0	

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	04	03	01	002314000	01	道路企画課	鈴木 通孝	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施、中央分離帯の閉鎖(継続事業)
- ・AI分析により抽出した危険予測箇所のマップ公開と対策実施(継続事業)
- ・生活道路における歩行者の安全対策の実施(継続事業)
- ・通学路整備要望(市内小・中学校・幼稚園)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
- ・歩行者と自転車利用者、相互の安全性向上を目的とした自転車通行空間等整備の実施(継続事業)
- ・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
- ・市単独事業 中規模要望

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・事故多発交差点等への対策は計画どおり20箇所を実施し、既対策箇所では約5割の事故削減効果が得られた。また、中央分離帯6箇所を閉鎖し事故を防止した。
- ・新たな取組みとして、AIが予測した危険箇所23箇所への対策を実施した。
- ・生活道路への対策として、側溝蓋掛け等とともに、速度規制と物理的デバイスの組み合わせにより安全な歩行空間を確保する「ゾーン30プラス」を2地区設定した。また、物理的デバイスとして本市初となる「スムーズ横断歩道」を設置した。
- ・通学路の安全対策は、浜松市通学路交通安全プログラムに基づいた各小中学校等の要望について、グリーンベルトの設置等の安全対策を年度内75箇所実施し、指標を達成した。
- ・自転車通行空間等整備は、指標である整備率90%を達成できなかったが、自転車交通量が多い県道浜松雄踏路線において、矢羽根型路面標示の設置を推進した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・AI分析により抽出した危険予測箇所のマップが、公開から半年で閲覧回数が22万回を超えるなど、交通事故への市民の関心は高い。

(1

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人件

- ・継続中の事業について概ね進捗した。
- ・生活道路における歩行者の安全確保を最優先とした対策として、「ゾーン30プラス」を2地区設定するとともに、市内で初となる「スムーズ横断歩道」を設置した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人件

- ・事故削減に向けて引き続き効果的・効率的な事故対策を推進するため、AIを活用して抽出した危険箇所について、最新のデータにより更新を図る。
- ・「ゾーン30プラス」地区の設定について、引き続き拡大を図るとともに、通学路等へも物理的デバイス設置を検討する。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 04	政策 03	予算費目 01	所属コード 002314000	事業 02	(担当課) 道路企画課	(責任者) 鈴木 通孝	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 02 道路照明灯LED化更新事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

道路照明灯のLED化により消費電力量の削減に伴うトータルコストの縮減(電球の長寿命化による維持管理コストの縮減)やCO2排出ガス削減等の環境負荷の低減を図ることを目的とする。
また、安全で円滑な道路交通の確保を図るとともに、倒壊防止など防災上の観点から道路施設の適正な維持・更新を推進するため、経年劣化する道路照明灯の計画的な修繕・更新を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	2019	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-1(1)ア						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑬気候変動	⑪実施手段						
事業とゴールの 関連性		消費電力量の削減による電球の長寿命化、CO2排出ガス削減により自然環境の改善に役立つ。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	55,000	135,720	1,061,699	168,000	68,029	630,000
	決算	95,941	135,719	491,764	676,340	129,620	456,648
	国・県支出	19,360	42,500	219,200	303,300		
	市債				297,800		365,800
	その他						
	一般財源	76,581	93,219	272,564	75,240	129,620	90,848
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		10,500	7,119	7,077	7,000	7,000	9,100
人工	正規	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		106,441	142,838	498,841	683,340	136,620	465,748

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
道路照明LED化更新率(%)		目標	80	45	50	55	60	-
		実績	38	43	67	96	99	-
道路照明LED化更新率(%) 基数ベース		目標	-	-	-	-	-	63
		実績	-	-	-	-	-	57
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	04	03	01	002314000	02	道路企画課	鈴木 通孝	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・道路照明灯について、消費電力が少なく維持管理コストの縮減や環境負荷の低減にもつながるLED灯に更新する。また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。(継続事業)
- ・県道細江舞阪線、市道中央住吉線等において約250基のLED化を実施した。
- ・LED化更新が未実施の道路照明灯について概略点検を実施した

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・LED化により、消費電力量やCO2排出ガスを削減し、環境負荷を低減した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・本市においても全庁的にカーボンニュートラルに取り組んでおり、道路照明灯LED化はその一助となる。
- ・都心部等でみられるデザイン灯は、景観や地域性(商店街等)に配慮した意匠となっているため、LED化に際して、同一規格の資材調達が困難なことに伴う地元調整や事業費の増加が課題となる。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・県道及び幹線市道の道路照明灯LED化を進めた。
- ・道路照明灯の概略点検により、支柱の経年劣化等が確認された。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・交通量の多い県道等や都心部のデザイン灯についてLED化を推進する。
- ・引続き国交付金の活用を図るとともに、市債の活用などにより事業を進捗する。
- ・支柱更新する道路照明灯は早期に対応する。

(管理番号)									
2024年度	分野 03	基本政策 04	政策 03	予算費目 01	所属コード 002314000	事業 03	(担当課) 道路企画課	(責任者) 鈴木 通孝	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 03 交通安全推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

交通安全に関する知識の普及、交通安全意識の高揚を図るための安全教育並びに交通安全広報活動の実施により交通事故総量の削減を図り、交通事故のない社会を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1971		一般会計		交通安全対策基本法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略		(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑪実施手段							
事業とゴールの 関連性			交通事故のない安全な社会を目指し交通事故防止に取り組むことで、交通事故を削減し、誰もが暮らしやすい快適な生活環境を実現する(究極的には交通事故ゼロ)。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	120,949	123,895	126,481	127,044	126,686	135,444
	決算	113,137	122,378	117,454	119,670	122,746	133,308
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	113,137	122,378	117,454	119,670	122,746	133,308
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,800	30,912	30,905	30,800	30,800	32,200
人工	正規	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		136,937	153,290	148,359	150,470	153,546	165,508

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
人身交通事故発生件数(件)		目標	6,000	6,000	2,500	2,500	2,500	2,500
		実績	6,582	5,570	5,375	5,094	4,999	4,795
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	04	03	01	002314000	03	道路企画課	鈴木 通孝	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・各年代に応じた交通安全教育の推進
(中・高校生に対するスクエアドストレイト方式型の交通安全教室や自転車マナーアップ向上キャンペーン事業、自転車シミュレーターなど交通安全資機材を活用した体験型交通教室、サポカー乗車体験会の開催等)
- ・交通安全の普及啓発活動の実施
(交通安全運動期間中における街頭広報、商業施設やイベント開催時におけるブース出展、民間大型ビジョンを活用した動画放映、生命(いのち)のメッセージ展の巡回展示等)
- ・交通安全情報の積極的な発信
(公式SNSの新規開設～広報活動、ラジオ・ケーブルテレビ等のマスメディアを活用した情報発信)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・「浜松市交通事故ワースト1脱出作戦」に基づき関係団体と連携して対策を行った結果、2024年の人身交通事故件数は対前年比-204件の4,795件となった。作戦開始からの10年間で約5割の削減となり、一定の対策効果はみられたが、未だワースト1からの脱却に至っていない。
- ・数値目標は、「2020年末までに人身交通事故件数6,000件以下」を設定し、達成。さらなる事故の総量削減を目指し、「2025年までに人身交通事故件数2,500件以下」を新たに設定。毎年着実に事故を削減するも、未達成。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2023年(令和5年)4月～ 自転車乗車時におけるヘルメット着用が努力義務化
- ・2023年(令和5年)7月～ 「特定小型原動機付自転車」と新たな車両区分が定義
- ・2024年(令和6年)11月～ 自転車のスマホ・酒気帯びの罰則が強化

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・サポカー体験会の開催方法を見直し、地域で体験会が受けられるよう協働センター駐車場を活用して実施した。
 - ・生命のメッセージ展の観覧数を増やすため、開催場所を市立図書館での巡回展示とし、期間も夏休みとした。
 - ・交通安全の積極的な情報発信の手段として、公式SNS(XとInstagram)を新規開設した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・交通事故を他人事としない交通安全意識の向上に繋げる取り組みを強化する。
 - ・サポカー乗車体験会を含む各種講習会の拡充開催する。(※地域で事故危険箇所を考える検討会の追加)
 - ・自転車に加えて特定小型原動機付自転車利用者に対する交通ルール の 遵守徹底とヘルメット着用の推進を図る。